

パンプキンアレンジメントづくり

秋のハロウィン花材(花言葉&お手入れ方法) & つくりかた



- ※道具&資材
- ・お花
 - ・カボチャ
 - ・オアシス
 - ・ワイヤー
 - ・リボン
 - ・ハサミ
 - ・カービングノコギリ
 - ・スプーン
 - ・セロハン
 - ・ペーパー
 - ・袋(持ち帰り)
 - ・シール

Let's have fun !!

■秋の花材 花言葉

- ・ダリア 「華麗」「優雅」「気品」「移り気」「不安定」
- ・ケイトウ 「おしゃれ」「気取り」「風変わり」
- ・カーベラ 「希望」「常に前進」
- ・カーネーション 「きらびやか」「潔白」
- ・リンドウ 「悲しんでいるあなたを愛する」「正義」「誠実」
- ・ヒペリカム 「きらめき」「悲しみは続かない」
- ・サンタンカ 「喜び」「張り切る」「可憐」「熱き思い」
- ・ペピーハンス 「愛情」「謙遜」「尊重される」

■基本的な、お花のお手入れ

- 下葉の処理・水切り
- ①下葉の処理
雑菌が繁殖するので、水に浸かる葉を落とす
 - ②水切り
水あげがよくなるように、切り口をきれいにしてあげます。

→延命剤の使用・置き場所・道具など

- ①延命剤を使う
市販の切花延命剤でお花の美しさを長く。
- ②置き場所
室温や直射日光、冷暖房に要注意!
- ③道具は清潔に
バクテリアの繁殖を防ぐためにも清潔に!
- ④余分なものは取り除く
たくさんの葉や痛んだ花は取り除きましょう!

※水やりは、器が小さいので1日1回あげましょう。

①カボチャをくりぬく

カービングノコギリで丸く円を描くようにカットします



- 開ける穴の大きさは、少し大きめがよい
- ①はじめにグッとノコギリを差し込みます。
 - ②ノコギリを引き進めるようにして、円状に切っていきます。
 - ③カボチャのヘタをつまみ、蓋をつくります。

②種などをスプーン取り除く

仕上げにペーパーでカボチャの中をよく拭き取ります



- セロハン敷き詰め保水します
水を足し、管理していく際にカボチャの中に水が入るとカボチャが腐りやすくなります。セロハンでしっかりと隙間をなくし水漏れを防止しましょう。

③オアシスを押し込んでいれる

カボチャの底に到達するまでしっかりと押し込みます



- 面取り
オアシスを使用する場合、面取りという処理を行います。この作業には、3つの効果があります。
- ①土台崩れ防止
 - ②花を挿しやすくなる
 - ③水がこぼれるのを防止する

④メインのお花を最初に挿す

ご自身の一番気に入ったお花をメインの花にします



■お花を素敵にみせるポイント

- ①お花を活けるとき、スポンジに茎を差し込む部分の長さは、約1~2センチ程度です。
お花の長さや器の大きさによっても変わります。
※スポンジに差し込む部分の茎についている、葉や棘などは取りましょう。
- ②お花の色や形、また向きや表情を意識しながら、そのお花の持っている魅力を活かしてあげましょう。

⑤長いお花は切り分けて使う

お花の色や形をよくみて、組み合わせを整えます



■切り分けかたのコツ

枝分かれているお花で、長く枝を使いたい場合は絵のようにします。

リンドウの場合は、画像のように葉が出てくる節の部分で、カットすると花を効率よく切り分けられて、お花をうまく全て活かすことができます。

また、お花は短くしてオアシスに挿したほうが、花弁などへ水が早く行き渡ります。茎が水を送る努力も減るので花が長持ちする要因になります。

⑥そのまま飾れば完成!

秋の花材はハロウィンにピッタリですね。



■ハロウィーン
毎年10月31日に行われる、ヨーロッパを発祥とする祭り。もともとは秋の収穫を祝い、悪霊などを追い出す宗教的な意味合いのある行事で、11月1日の、カトリックの聖人の日である万聖節(All-hallow)の前晩に行われる。
「All-hallow-even」を短縮しHalloweenと呼ばれる。

※仕上げにリボンをつけてOK!

complete